

## 認定理学療法士の履修要件

認定理学療法士の認定を受けるためには、以下に示す1から3の条件をすべて満たした協会員が、認定理学療法士の認定試験の受験を申請し、これに合格する必要があります。

1. 新人教育プログラムを修了し、協会指定研修2つを履修することにより、協会指定研修による共通ポイントを60ポイント取得していること。以下の(1)を参照してください。
2. 各専門領域研究部会による認定領域別ポイント(必須研修会で20ポイント、その他の指定で100ポイント)を取得していること。以下の(2)を参照してください。
3. 各専門領域研究部会が指定する事例または症例報告(10例)、あるいはレビューレポート(基礎理学療法研究部会のみ別途指定)を、指定する書式で必要数提出していること。

### (1) 協会指定研修による共通ポイント

全ての認定理学療法士は、以下の共通ポイント(60ポイント)を取得しなければならない。

	必要ポイント	内容	必須・選択
新人教育プログラム修了	20	新人教育プログラムを修了し、修了証をもっているもの	必須
協会指定研修	20	エビデンス(知る・作る)及び倫理に関するもの	必須
	20	リスク管理に関するもの	必須

### (2) 各専門領域研究部会による認定領域別ポイント(120ポイント)

各専門領域研究部会別に以下のように定めているので、確認の上ポイントを取得すること。

なお、「専門理学療法士並びに認定理学療法士資格取得および更新に関わるポイント基準」(JPTA NEWS No.260(別冊)P14・15参照)の大項目「7.大学院修了の読み替え」は、各専門領域研究部会が、大学院での論文を、申請する認定領域に関連するテーマであると認定すれば、必須研修会以外の100ポイントに読み替えることができる。

# 1) 基礎理学療法研究部会

## 1)-a 認定理学療法士(ひとを対象とした基礎領域)

	必要ポイント	内容	必須・選択
必須研修会	20		必須
自由選択ポイント	100	ポイント基準*1の大項目の1～9に準ずる*2	選択

\*1 ポイント基準とは、「専門理学療法士並びに認定理学療法士資格取得および更新に関わるポイント基準」を指す。JPTA NEWS No.260(別冊) P14・15を参照のこと。

\*2 ポイント基準の大項目「1.学会参加」のポイントが30ポイント以上、「4.学会発表等」のポイントが10ポイント以上含まれていること。学会発表の内容の認定領域としての妥当性は、基礎理学療法研究部会が審査する。ポイント基準の大項目9には死体解剖資格も含まれる。基礎理学療法研究部会が開催する体験型研修会(20ポイント)も含まれる。

その他:都道府県士会主催規模の学会・講習会・研修会等のポイントは、本認定領域別ポイント(120ポイント)のうち、最大20ポイントまでとする。

※レビューレポートは、別途指定する様式で、申請者の研究テーマを表題にし、そのテーマに関わる査読のある論文10本以上(外国語論文5本以上を含む)を参考に作成する

## 1)-b 認定理学療法士(動物・培養細胞を対象とした基礎領域)

	必要ポイント	内容	必須・選択
必須研修会	20		必須
自由選択ポイント	100	ポイント基準*1の大項目の1～9に準ずる*2	選択

\*1 ポイント基準とは、「専門理学療法士並びに認定理学療法士資格取得および更新に関わるポイント基準」を指す。JPTA NEWS No.260(別冊) P14・15を参照のこと。

\*2 ポイント基準の大項目「1.学会参加」のポイントが30ポイント以上、「4.学会発表等」のポイントが10ポイント以上含まれていること。学会発表の内容の認定領域としての妥当性は、基礎理学療法研究部会が審査する。ポイント基準の大項目9には死体解剖資格も含まれる。基礎理学療法研究部会が開催する体験型研修会(20ポイント)も含まれる。

その他:都道府県士会主催規模の学会・講習会・研修会等のポイントは、本認定領域別ポイント(120ポイント)のうち、最大20ポイントまでとする。

※レビューレポートは、別途指定する様式で、申請者の研究テーマを表題にし、そのテーマに関わる査読のある論文10本以上(外国語論文5本以上を含む)を参考に作成する

## 2) 神経理学療法研究部会

### 2)-a 認定理学療法士(脳卒中)

	必要ポイント	内容	必須・選択
認定理学療法士必須研修会(脳卒中)	20	領域の指定する「脳卒中」に関する包括的な内容の研修会	必須
専門領域指定研修	40	領域の指定する内容を含む研修会・講習会への参加	必須
選択研修 <sup>*3*4</sup>	60	ポイント基準大項目に準ずる <sup>*1</sup> 2つ以上の大項目を履修	選択

\*1 ポイント基準とは、「専門理学療法士並びに認定理学療法士資格取得および更新に関わるポイント基準」を指す。JPTA NEWS No.260(別冊) P14・15を参照のこと。

\*3 「学会発表等」「論文・著作等」で履修する場合には、「脳卒中」に関わる内容であること

\*4 他の領域に係る研修会等での履修も可能であるが、その合計は30ポイント以下であること

### 2)-b 認定理学療法士(神経筋障害)

	必要ポイント	内容	必須・選択
認定理学療法士必須研修会(神経筋障害)	20	領域の指定する「神経筋障害」に関する包括的な内容の研修会	必須
専門領域指定研修	40	領域の指定する内容を含む研修会・講習会への参加	必須
選択研修 <sup>*3*4</sup>	60	ポイント基準大項目に準ずる <sup>*1</sup> 2つ以上の大項目を履修	選択

\*1 ポイント基準とは、「専門理学療法士並びに認定理学療法士資格取得および更新に関わるポイント基準」を指す。JPTA NEWS No.260(別冊) P14・15を参照のこと。

\*3 「学会発表等」「論文・著作等」で履修する場合には、「神経筋障害」に関わる内容であること

\*4 他の領域に係る研修会等での履修も可能であるが、その合計は30ポイント以下であること

### 2)-c 認定理学療法士(脊髄障害)

	必要ポイント	内容	必須・選択
認定理学療法士必須研修会(脊髄障害)	20	領域の指定する「神経筋障害」に関する包括的な内容の研修会	必須
専門領域指定研修	40	領域の指定する内容を含む研修会・講習会への参加	必須
選択研修 <sup>*3*4</sup>	60	ポイント基準大項目に準ずる <sup>*1</sup> 2つ以上の大項目を履修	選択

\*1 ポイント基準とは、「専門理学療法士並びに認定理学療法士資格取得および更新に関わるポイント基準」を指す。JPTA NEWS No.260(別冊) P14・15を参照のこと。

\*3 「学会発表等」「論文・著作等」で履修する場合には、「脊髄障害」に関わる内容であること

\*4 他の領域に係る研修会等での履修も可能であるが、その合計は30ポイント以下であること

## 2)-d 認定理学療法士(発達障害)

	必要ポイント	内容	必須・選択
認定理学療法士必須研修会(発達障害)	20	領域の指定する「神経筋障害」に関する包括的な内容の研修会	必須
専門領域指定研修	40	領域の指定する内容を含む研修会・講習会への参加	必須
選択研修 <sup>*3*4</sup>	60	ポイント基準大項目に準ずる <sup>*1</sup> 2つ以上の大項目を履修	選択

\*1 ポイント基準とは、「専門理学療法士並びに認定理学療法士資格取得および更新に関わるポイント基準」を指す。JPTA NEWS No.260(別冊) P14・15を参照のこと。

\*3 「学会発表等」「論文・著作等」で履修する場合には、「発達障害」に関わる内容であること

\*4 他の領域に係る研修会等での履修も可能であるが、その合計は30ポイント以下であること

### 3) 運動器理学療法研究部会

#### 3)-a 認定理学療法士(運動器)

	必要ポイント	内容	必須・選択
必須研修会	20	運動器理学療法に関するもの	必須
講習会・研修会等の受講	80	ポイント基準*1の大項目の2に準ずる*5	選択
学会参加	20	学術大会、分科会学会、WCPT、ACPT、ブロック学会、都道府県学会、関連学会(日本リハビリテーション医学会、日本運動器リハビリテーション学会)*6	

\*1 ポイント基準とは、「専門理学療法士並びに認定理学療法士資格取得および更新に関わるポイント基準」を指す。JPTA NEWS No.260(別冊) P14・15を参照のこと。

\*5 講習会・研修会等の内容の認定領域としての妥当性は、運動器理学療法研究部会が審査する。但し、都道府県士会主催規模の講習会・研修会等のポイントは20ポイントを上限とする。

\*6 この項目一覧にない学会はポイント対象外とする。

#### 3)-b 認定理学療法士(切断)

	必要ポイント	内容	必須・選択
必須研修会	20	切断に関するもの	必須
講習会・研修会等の受講	80	ポイント基準*1の大項目の2に準ずる*5	選択
学会参加	20	学術大会、分科会学会、WCPT、ACPT、ブロック学会、都道府県学会、関連学会(日本リハビリテーション医学会、日本運動器リハビリテーション学会、日本義肢装具学会)*7	

\*1 ポイント基準とは、「専門理学療法士並びに認定理学療法士資格取得および更新に関わるポイント基準」を指す。JPTA NEWS No.260(別冊) P14・15を参照のこと。

\*5 講習会・研修会等の内容の認定領域としての妥当性は、運動器理学療法研究部会が審査する。但し、都道府県士会主催規模の講習会・研修会等のポイントは20ポイントを上限とする。

\*7 この項目一覧にない学会はポイント対象外とする。

### 3)-c 認定理学療法士(スポーツ理学療法)

	必要ポイント	内容	必須・選択
必須研修会	20	スポーツ理学療法に関するもの	必須
講習会・研修会等の受講	80	ポイント基準*1の大項目の2に準ずる*5	選択
学会参加	20	学術大会、分科会学会、WCPT、ACPT、ブロック学会、都道府県学会、関連学会(日本臨床スポーツ医学会、日本整形外科スポーツ医学会)*8	

\*1 ポイント基準とは、「専門理学療法士並びに認定理学療法士資格取得および更新に関わるポイント基準」を指す。JPTA NEWS No.260(別冊) P14・15を参照のこと。

\*5 講習会・研修会等の内容の認定領域としての妥当性は、運動器理学療法研究部会が審査する。但し、都道府県士会主催規模の講習会・研修会等のポイントは20ポイントを上限とする。

\*8 この項目一覧にない学会はポイント対象外とする。

公的資格:財団法人日本体育協会公認アスレティック・トレーナー(JASA-AT)の資格は、ポイント基準の大項目「9.公的機関の定める資格」として認める。

### 3)-d 認定理学療法士(徒手理学療法)

	必要ポイント	内容	必須・選択
必須研修会	20	徒手理学療法に関するもの	必須
講習会・研修会等の受講	80	ポイント基準*1の大項目の2に準ずる*5	選択
学会参加	20	学術大会、分科会学会、WCPT、ACPT、ブロック学会、都道府県学会、関連学会(日本リハビリテーション医学会、日本運動器リハビリテーション学会)*9	

\*1 ポイント基準とは、「専門理学療法士並びに認定理学療法士資格取得および更新に関わるポイント基準」を指す。JPTA NEWS No.260(別冊) P14・15を参照のこと。

\*5 講習会・研修会等の内容の認定領域としての妥当性は、運動器理学療法研究部会が審査する。但し、都道府県士会主催規模の講習会・研修会等のポイントは20ポイントを上限とする。

\*9 この項目一覧にない学会はポイント対象外とする。

## 4) 内部障害理学療法研究部会

### 4)-a 認定理学療法士(循環)

	必要ポイント	内容	必須・選択
必須研修会	20	認定理学療法士(循環)必須研修会	必須
学会参加	100	ポイント基準*1の大項目1.の範疇で認定領域に関連したもの	選択
選択研修		ポイント基準*1大項目2～6の範疇で認定領域に関連したもの	

\*1 ポイント基準とは、「専門理学療法士並びに認定理学療法士資格取得および更新に関わるポイント基準」を指す。JPTA NEWS No.260(別冊) P14・15を参照のこと。

### 4)-b 認定理学療法士(呼吸)

	必要ポイント	内容	必須・選択
必須研修会	20	認定理学療法士(呼吸)必須研修会	必須
学会参加	100	ポイント基準*1の大項目1.の範疇で認定領域に関連したもの	選択
選択研修		ポイント基準*1大項目2～6の範疇で認定領域に関連したもの	

\*1 ポイント基準とは、「専門理学療法士並びに認定理学療法士資格取得および更新に関わるポイント基準」を指す。JPTA NEWS No.260(別冊) P14・15を参照のこと。

### 4)-c 認定理学療法士(代謝)

	必要ポイント	内容	必須・選択
必須研修会	20	認定理学療法士(代謝)必須研修会	必須
学会参加	100	ポイント基準*1の大項目1.の範疇で認定領域に関連したもの	選択
選択研修		ポイント基準*1大項目2～6の範疇で認定領域に関連したもの	

\*1 ポイント基準とは、「専門理学療法士並びに認定理学療法士資格取得および更新に関わるポイント基準」を指す。JPTA NEWS No.260(別冊) P14・15を参照のこと。

## 5) 生活環境支援理学療法研究部会

### 5)-a 認定理学療法士(地域理学療法)

	必要ポイント	内容	必須・選択
必須研修会	20	認定理学療法士必須研修会(地域理学療法)	必須
選択ポイント1*10*11	60	地域理学療法に関するもの	選択
選択ポイント2*10*11	40	運動器理学療法、神経理学療法、内部障害理学療法に関するもの	選択

\*10 福祉用具ベーシックセミナー終了者は選択ポイント1、2から40ポイントを免除する。

\*11 福祉用具アドバンスセミナー修了者は選択ポイント1、2から80ポイントを免除する。

### 5)-b 認定理学療法士(健康増進・参加)

	必要ポイント	内容	必須・選択
必須研修会	20	認定理学療法士必須研修会(健康増進・参加)	必須
選択ポイント1*12*13	60	健康増進・参加に関するもの	選択
選択ポイント2*12*13	40	運動器理学療法、神経理学療法、内部障害理学療法に関するもの	選択

\*12 障がい者スポーツベーシックセミナー終了者は選択ポイント1、2から40ポイントを免除する。

\*13 障がい者スポーツアドバンスセミナー修了者は選択ポイント1、2から80ポイントを免除する。

### 5)-c 認定理学療法士(介護予防)

	必要ポイント	内容	必須・選択
必須研修会	20	認定理学療法士必須研修会(介護予防)	必須
選択ポイント1*14	60	介護予防に関するもの	必須
選択ポイント2*14	40	運動器理学療法、神経理学療法、内部障害理学療法に関するもの	選択

\*14 認定理学療法士(介護予防)「(暫定)」のための研修コース終了者は選択ポイント1、2から80ポイントを免除する。

#### 5)-d 認定理学療法士(補装具)

	必要ポイント	内容	必須・選択
必須研修会	20	認定理学療法士必須研修会(補装具)	必須
選択ポイント1*15*16	60	補装具に関するもの	必須
選択ポイント2*15*16	40	運動器理学療法、神経理学療法、内部障害理学療法に関するもの	選択

\*15 福祉用具ベーシックセミナー終了者は選択ポイント1、2から40ポイントを免除する。

\*16 福祉用具アドバンスセミナー修了者は選択ポイント1、2から80ポイントを免除する。

## 6) 物理療法研究部会

### 6)-a 認定理学療法士(物理療法)

	必要ポイント	内容	必須・選択
必須研修会	20	物理療法講習会ベーシックコース <sup>*17</sup>	必須
学会発表	20	物理療法に関する発表 <sup>*18</sup>	必須
その他の研修会、学会参加、関連資格等 <sup>*19</sup>	80		選択

\*17 物理療法講習会ベーシックコースは、物理療法専門部会が開催する講習会であり、理論と技術を習得し臨床で物理療法が使えるようにする講習会である。

\*18 発表内容により認定領域を物理療法研究部会が判断する。また、学会発表の物理療法研究としての妥当性は、物理療法研究部会が審査する。

\*19 研修会、学会は物理療法に関連した内容、及び物理療法実施に必要な知識・技術の内容であること。また、その内容の物理療法研究としての妥当性は、物理療法研究部会が審査する。ポイント数はJPTA NEWS No.260(別冊)P14・15の「専門理学療法士並びに認定理学療法士資格取得および更新に関わるポイント基準」に従う。

関連資格：20ポイント

物理療法に関連した認定士については、その認定学会会則及び認定基準の書類を提出する。提出書類を基に物理療法研究部会で判断する。

### 6)-b 認定理学療法士(褥瘡・創傷ケア)

	必要ポイント	内容	必須・選択
必須研修会	20	物理療法講習会ベーシックコース <sup>*17</sup>	必須
学会発表	20	物理療法に関する発表 <sup>*18</sup>	必須
その他の研修会、学会参加、関連資格等 <sup>*19</sup>	80		選択

\*17 物理療法講習会ベーシックコースは、物理療法専門部会が開催する講習会であり、理論と技術を習得し臨床で物理療法が使えるようにする講習会である。

\*18 発表内容により認定領域を物理療法研究部会が判断する。また、学会発表の物理療法研究としての妥当性は、物理療法研究部会が審査する。

\*19 研修会、学会は物理療法に関連した内容、及び物理療法実施に必要な知識・技術の内容であること。また、その内容の物理療法研究としての妥当性は、物理療法研究部会が審査する。ポイント数はJPTA NEWS No.260(別冊)P14・15の「専門理学療法士並びに認定理学療法士資格取得および更新に関わるポイント基準」に従う。

関連資格：20ポイント

物理療法に関連した認定士については、その認定学会会則及び認定基準の書類を提出する。提出書類を基に物理療法研究部会で判断する。

## 6)-c 認定理学療法士(疼痛管理)

	必要ポイント	内容	必須・選択
必須研修会	20	物理療法講習会ベーシックコース <sup>*17</sup>	必須
学会発表	20	物理療法に関する発表 <sup>*18</sup>	必須
その他の研修会、学会参加、関連資格等 <sup>*19</sup>	80		選択

\*17 物理療法講習会ベーシックコースは、物理療法専門部会が開催する講習会であり、理論と技術を習得し臨床で物理療法が使えるようにする講習会である。

\*18 発表内容により認定領域を物理療法研究部会が判断する。また、学会発表の物理療法研究としての妥当性は、物理療法研究部会が審査する。

\*19 研修会、学会は物理療法に関連した内容、及び物理療法実施に必要な知識・技術の内容であること。また、その内容の物理療法研究としての妥当性は、物理療法研究部会が審査する。ポイント数はJPTA NEWS No.260(別冊)P14・15の「専門理学療法士並びに認定理学療法士資格取得および更新に関わるポイント基準」に従う。

関連資格 : 20ポイント

物理療法に関連した認定士については、その認定学会会則及び認定基準の書類を提出する。提出書類を基に物理療法研究部会で判断する。

## 7) 教育管理理学療法研究部会

### 7)-a 認定理学療法士(臨床教育)

	必要ポイント	内容	必須・選択
必須研修会・講習会・研修会等の受講	20	臨床実習指導者研修会(認定理学療法士必須研修会)* 20	必須
	100	臨床教育に関する講習会・研修会*21	選択
学会参加		学術大会、分科会学会、WCPT、ACPT、関連学会(日本医学教育学会、教育研究大会)	選択
臨床実習指導者としての業績		臨床実習の主たる指導者(1年間に40ポイントまで)	選択

\*20 当面の措置として認定理学療法士(臨床教育)必須研修会は教育部主催の臨床実習指導者研修会を読み替える事が可能とする。

\*21 講習会・研修会内容の認定領域としての妥当性は、教育管理研究部会が審査する。但し、都道府県士会主催規模の講習会・研修会等のポイントは20ポイントを上限とする。

※ 教員養成長期講習会修了者については、領域ポイント100ポイントを免除する。(残り20ポイントについては、必須研修会)但し、学校教育への申請には用いられない(重複申請は不可)。

※ 大学院修了の読み替え:教育学に関する修士号あるいは博士号を有する者は選択ポイント100ポイントを免除する(残り20ポイントについては、必須研修会)

※ 事例報告10例は、全て臨床教育に関する事例とし、内容の妥当性は教育管理系理学療法研究部会が審査する。

### 7)-b 認定理学療法士(管理・運営)

	必要ポイント	内容	必須・選択
必須研修会・講習会・研修会等の受講	20	管理・運営に関する理学療法士講習会、協会主催研修会	必須
	100	管理・運営に関する講習会・研修会*22	選択
学会参加		学術大会、分科会学会、WCPT、ACPT	選択

\*22 管理・運営に関する講習会・研修会とは、協会主催研修会基準に準ずるもの(時間・講師)であり、履修ポイント数はJPTA NEWS No.260(別冊)P14・15の「専門理学療法士並びに認定理学療法士資格取得および更新に関わるポイント基準」に従う。

※ 大学院修了の読み替え:論文テーマが管理・運営に関連するもので、その内容の妥当性について教育管理系理学療法研究部会が審査し認めたものについて、選択ポイント100ポイントを免除する(残り20ポイントについては、必須研修会)

事例報告10例は、全て管理・運営に関する事例とし、内容の妥当性は教育管理理学療法研究部会が審査する。

### 7)-c 認定理学療法士(学校教育)

	必要ポイント	内容	必須・選択
必須研修会・講習会・研修会等の受講	20	教員研修会(協会教育部主催) <sup>*23</sup>	必須
	100	学校教育に関する講習会、研修会 <sup>*24</sup>	選択
学会参加		学術大会、分科会学会、WCPT、ACPT、関連学会(日本医学教育学会、教育研究大会)	選択

\*23 当面の措置として認定理学療法士(臨床教育)必須研修会は教育部主催の臨床実習指導者研修会を読み替える事が可能とする。

\*24 講習会・研修会内容の認定領域としての妥当性は、教育管理研究部会が審査する。但し、都道府県土会主催規模の講習会・研修会等のポイントは20ポイントを上限とする。

※ 教員養成長期講習会修了者については、領域ポイント100ポイントを免除する(残り20ポイントについては、必須研修会)。但し、臨床教育への申請には用いられない(重複申請は不可)。

※ 大学院修了の読み替え:教育学に関する修士号あるいは博士号を有する者は選択ポイント100ポイントを免除する(残り20ポイントについては、必須研修会)

※ 事例報告10例は、全て学校教育に関する事例とし、内容の妥当性は教育管理系理学療法研究部会が審査する。